

# 6月の園だより

令和5年5月30日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

## 「絵本を楽しみましょう」

園長 石床 美穂子

4月に入園・進級でドキドキ・ワクワクしていた子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れてきました。4～5月の子供園は・・・お母さんに会いたくて泣いている子、緊張して硬い表情の子、はりきってちょっぴり肩に力が入っている子等・・・いろいろな気持ちの子どもたちがいました。そんな中、どの子もゆったりと楽しい気持ちになる時間がありました。それは、先生たちが絵本を読んでもくれる時間です。この時間は、学級の友達みんなが集まって、お話の世界を楽しみます。

子どもたちは、絵本が大好きです。先生のやさしい語りに耳を傾け、面白そうな絵をじっと見ています。絵本を読んでもらうときの子どもの表情は、素直に笑ったり、驚いたり、しみりしたり・・・無邪気でとてもかわいらしいです。

子どもたちが喜ぶと先生も嬉しくなります。同じことを一緒に楽しめることで「先生大好き」という気持ちになります。絵本を読むことは、スキンシップと一緒なのでしょう。絵本のよさのひとつは、安心の場になるということだと思います。

また、絵本を楽しむ中で、子どもは広い世界を知り、想像したり、お話を通していろいろなことを体験したりし、豊かな感性が育まれます。このような幼児期の体験が、小学校以降の読書へと繋がっていきます。東京都教育委員会では、子どもにとって読書とは「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と示しています。読書についての調査では、小・中・高生の本を読む冊数が減少しているということや、小さいころに家族や先生など身近な人に本を読んでもらっていたり、家に本があったりしたことが、読書習慣に繋がっているという結果が出ています。

1歳ぐらいのお子さんでも、絵本を読んでもらうととても喜ぶます。お母さんやお父さんの愛情が、声や表情やそばにいる温かさから感じられるからです。心の中が、大人に対する安心感と信頼感でいっぱいになります。赤ちゃんの時から積み重ねがとても大切です。「あまりそういう時間をつくらなかった。」と言う方は、今からでも間に合います。大人も絵本を読んでもらうのを楽しみましょう。子どもも大人も「この絵本大好き」という本が見つかるといいですね。親子でお気に入りの絵本を探す時間も楽しんでみてください。

子どもがちょっと文字に興味をもち、拾い読みするようになると「自分で読めるわね。」と大人が読んであげなくなってしまうがちです。でも、字を読みながらストーリーを楽しむ余裕はまだありません。子どもが「読んで。」と言ってくる間は、読んであげる時期なのです。

4、5歳児のくま組とぞう組は、毎週木曜日に子供園の絵本の貸し出しをしています。子どもたちがお気に入りのものや面白そうだなと思うものを自分で選んで借りています。3歳児うさぎ組も6月から貸し出しを始めます。どうぞ、親子で絵本を楽しんでくださいね。

## 子どもたちの様子と今月のねらい

### 3歳児 うさぎ組

子供園にも慣れ、朝の身支度や弁当の支度等、自分でできることは自分でやってみようとする姿が増えてきました。泥遊びでは、裸足になって泥の感触や水の冷たさや気持ちよさを感じています。

戸外で過ごす姿も増え、水を使った遊びや泥遊びを通して、感触の違いを感じて繰り返し楽しんでいます。

今月から水遊びが始まります。一人ひとりのペースで水遊びを楽しみ、水の心地よさや開放感を楽しめるようにしていきます。

#### 〈今月のねらい〉

○好きな遊びを見つけて自分なりに楽しむ。

○水・砂・泥の感触を楽しんだり、水の冷たさや心地よさを感じたりして遊ぶ。

○保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。

#### 〈家庭との連携〉

汗をかいたり、泥遊びや水遊びをしたりすることで、着替えをする回数が増えています。着脱のしやすい衣服の用意や補充をお願いします。また、衣類の着脱は、保護者の方がすべて手伝えるのではなく、お子さん自身が自分でやっていけるよう、やり方を知らせたり、手を添えたりしながら、少しずつ自分でできるようにしていきましょう。

### 4歳児 くま組

“オオカミとコブタの鬼遊び”を通して、学級みんなでルールのある遊びを楽しんでいます。やりたい役のお面をつけてなりきって動き、逃げたり追いかけたりを楽しみながら、たくさん走っています。

また、友達と一緒に同じものを持って遊んだり、同じ場で「～しよう！」と声を掛け合ったりする等、友達との関わりを楽しむ姿が見られるようになってきました。一方で、遊びの中で、自分の思いを出すようになってきた分、互いの思いがぶつかり合い、トラブルになることもあります。それぞれの子どもたちの思いを受け止めながら、互いの気持ちが分かるように支えています。

#### 〈今月のねらい〉

○身近な素材や用具を使って作ったり、作った物を使って遊んだりする。

○自分の思いを言葉や動きで表しながら遊ぶ。

○砂・土・泥・水等に触れて感触を楽しんだり、開放感を味わったりする。

#### 〈家庭との連携〉

6月中旬から、プール指導が始まり、水着に着替えたり濡れた体を拭いたりします。難しい部分は、保育者も手伝いますが、自分でできた喜びが味わえるよう、子どもたちが扱いやすい物の用意をお願いします。また、お風呂上りに一人で着替えたり、タオルで体や髪の毛を拭いたりする等、ご家庭でもやってみてください。

## 5歳児 そろ組

大型積み木やキングブロックを使ったホールの遊びでは、つくりたいものをつくって遊ぶことを楽しむ姿から、イメージに合わせて場や必要なものをつくることを楽しむ姿に変わってきています。友達の動きや言葉がきっかけとなり、イメージが広がり、共通のめあてをもって遊ぶ姿も見られるようになってきました。玉を転がすコースづくりや、砂場での水路づくりでは、自分たちのめあてを達成するために、いろいろなものを使って、友達と一緒に考えながら遊ぶことを楽しんでいます。

### <今月のねらい>

- 「こうしていこう」という自分のめあてをもち、試したり工夫したりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりしながら、めあてに向けて友達と遊びを進める楽しさを感じる。
- 新しい楽器にふれ、自分なりに鳴らしたり、友達と一緒に鳴らしたりする楽しさを感じる。

### <家庭との連携>

先日の保育参観・懇談では、自分のめあてを見つけ遊びに取り組んだり、友達と考えを伝え合いながら遊びを楽しんだりする姿を見ていただけたかと思います。グループ懇談では、「遊びの様子を様々な視点から聞くことができた」「家庭での過ごし方を聞くことができて良かった」等の感想がありました。保護者の方から様々な視点でお話を聞くことができ、実りある懇談会になったと感じています。ありがとうございました。

## ほしグループ 長時間保育

3歳児は、少しずつ長時間保育の過ごし方に慣れ、落ち着いて過ごせるようになってきました。みんなの部屋に行くと、他学年のお兄さんお姉さんと一緒にブロックをしたり保育者と一緒にカード遊びをしたりして楽しんでいます。4歳児は、先月に引き続き泥団子づくりをしています。泥団子をたくさん作ることが嬉しくて次の日も続けています。また、うさぎ組の幼児がほしいと言った製作物を、つくってあげる姿も見られました。5歳児は、全員保育の時にしているしっぽとりを夕方も友達と一緒に楽しんでいます。また、遠足をきっかけに今まで以上に自然や生き物に興味をもち、花や虫の図鑑をじっくりと見て絵をかき、図鑑をつくっています。

6月は、雨で室内遊びが多くなることが予想されます。季節に合った製作ができるように教材を用意したり、ホールを利用したりするなど活動内容を工夫していきます。